

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 12 月 15 日作成)

小委員会名	環境振動評価小委員会		主 査 名：鈴木 雅靖 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：国松 直
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境振動にかかわる最新の研究，および実務動向に関する情報収や，国際規格にかかわる審議などを行う。</li> <li>・環境振動性能評価の現状や問題点の把握，および課題の抽出を行い，今後の環境振動性能評価のあり方を模索するとともに，環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	鈴木雅靖(鹿島建設)， 富田隆太(日本大学)， 石川孝重(日本女子大学)， 石川理都子(大林組)， 植松武是(北海学園大学)， 内田季延(飛島建設)， 川久保政茂(円石コンサルタント)， 国松 直(産業技術総合研究所)， 新藤智(西日本工業大学)， 久木章江(文化学園大学)， 濱本卓司(東京都市大学)， 益田勲(日本交通技術)， 森下真行(前田建設工業)， 横山 裕(東京工業大学)， 松本泰尚(埼玉大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	108,000 円	ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初の目的通り進捗。複合振動評価・振動評価の可視化など課題抽出・今後の評価のあり方等を検討。来年度は複合振動評価を WG として立ち上げる予定。
委員会活動の問題点 ・課題	ISO108 (機械学会主導) 関連委員会定員制限のため、委員・オブザーバーとして参加できず、最新状況が得にくい状況。

## 2017 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4 段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由, 特記事項等)</p>	<p>当初の予定通り。 改訂予定の居住性能評価規準・居住性能評価設計指針を踏まえた上で、今後の環境振動評価のあり方について検討。都市部の複雑な振動発生状況を評価するための、複合振動の評価のあり方や、一般の人を対象とした振動感覚の表現方法等について検討、複合振動の評価のあり方に関しては、来年度以降 WG として議論を深めていく予定。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。